

幼児理解のためのチェックシート(滋賀県総合教育センター版)

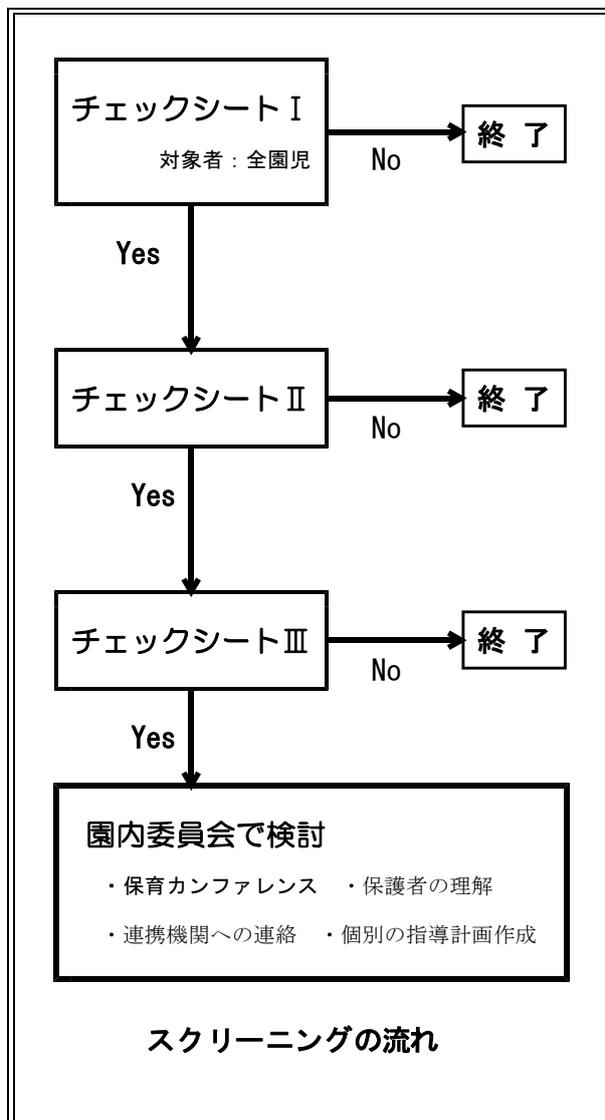
このチェックシートは、幼稚園・保育園（所）に在籍する幼児に対してスクリーニングを実施し「特別な支援を必要とする子ども」を園内委員会でとりあげ支援するために利用するものです。また、シートⅢは、2002年に小・中で全国調査がなされたものとほぼ同等の領域内容になっているので、小学校への連携には、有用な資料になると考えられます。

検査ではありませんので記入にあたっては、わざわざテストをしてまで調べる必要はありませんが、普段の保育の中で意識して確認したり、保育記録など把握済みのものを利用したりするなど工夫して回答してください。

○チェックシートの記入にあたって

チェックシートは、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの3種類があり、3段階になっています。記入にあたっては、複数の教師の目でチェックすることが大切です。

チェックシートⅠ・Ⅱは、一度に学級全員のチェックを行う一覧表タイプで、チェックシートⅢについては、個人票です。



(1) チェックシートⅠ

在籍園児全員を対象として実施します。

【判断】

- ・該当項目あり → チェックシートⅡへ
- ・該当項目なし → スクリーニング終了

(2) チェックシートⅡ

チェックシートⅠに該当項目があった園児について個別に全項目をチェックします。

【判断】

- ・1領域に2つ以上該当項目あり
→ チェックシートⅢへ
- ・該当項目なし → スクリーニング終了

※チェックシートⅡの右端に、チェックシートⅢへ進む際の領域番号を括弧内に記してあります。チェックシートⅡの横に並んだ5つの項目中2つ以上該当があればチェックシートⅢの括弧内で示された番号の領域へ進んでください。

(3) チェックシートⅢ

該当する領域項目すべてをチェックします。

【判断】領域によって得点（計算点）の出し方や基準点が違うので注意してください。

①領域1～7（領域4・5については発達段階に合わせて1～5まででの実施とする）

それぞれの項目を1～3点の3段階で評価し、1つの領域5～10項目の合計がその領域の得点合計となります。領域別の得点合計がそれぞれの基準点以上の場合、その領域において困難さを有している可能性がある」と判断できます。

②領域8～9

それぞれの項目を0～3点の4段階で評価し、0点と1点は0点、2点と3点は1点と換算し、1つの領域9項目の計算点の合計がその領域の得点合計となります。領域別の得点合計が6以上の場合、その領域において顕著な困難さを有している可能性がある」と判断できます。

③領域10

それぞれの項目を0～2点の3段階で評価します。全27項目の合計がこの領域の得点合計となります。得点合計が22以上の場合、その領域において顕著な困難さを有している可能性がある」と判断できます。

（4）園内委員会での検討

チェックシートⅢで、顕著な困難さを有している領域が見つかった場合は、幼児の支援について、チェックシートの結果や保育状況などの資料をもとに、園内委員会で支援の方策について検討します。幼児の状況によって、療育教室や言葉の教室、特別支援学校の担当者と連携を取るなどの手だてが必要になると考えられます。また、その他の幼児についても園内委員会で保育カンファレンスなどを実施し、職員の共通理解の元、個別の指導計画を立てて支援を進めます。

参考文献

文部科学省「今後の特別支援教育の在り方について（最終報告）」における判断基準（試案）2002

滋賀県教育委員会「児童生徒理解に関するチェック・リスト」2005年（平成17年）3月

徳島県教育委員会「通常の学級に在籍している特別な支援を必要とする子どものチェックシート」2006年（平成18年）8月

小枝達也『ADHD, LD, HFPDD, 軽度MR児 保健指導マニュアル』2002年（平成14年）、第3章

海津亜希子「LD児の学力におけるつまづききの特徴」－健常児群と学年群ごとの比較を通して－ 2002 特総研紀要29巻

「LD i」LD判断のための調査票 手引き 上野一彦・篁倫子・海津亜希子 日本文化科学社

幼児理解のためのチェックシート I

クラス

子どもたちの中で、次の項目内容でちょっと気になる子はいませんか。
 月齢が近い子どもと比較して、際だって目立つ項目の欄にチェックをつけてください。
 1つでも該当する項目がある場合は、チェックシートⅡへ進みます。

整理番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35				
質問項目	イニシャル等																																							
	1	言葉の問題がある・言葉が遅い ・会話になりにくい・しゃべりすぎる																																						
	2	パニックやかんしゃくを起こしやすい																																						
	3	落ち着きがなく、じっとしてられない																																						
	4	友だちに乱暴したり、動物をいじめたりする																																						
	5	言うことを聞かず、指示が入りにくい																																						
	6	こだわりが強い ・行動様式・物・場所																																						
	7	一人遊びを好み、友だちと遊べない																																						
	8	不安が強く、場なれが悪い																																						
	9	名前を呼んでも反応しない																																						
	10	不器用である																																						
	11	親から離れにくい、親がいなくても平気																																						
	12	偏食がひどい																																						
判定 (シートⅡに進む場合、印をつける)																																								

幼児理解のためのチェックシートⅡ

クラス

このシートは、チェックシートⅠに該当する項目があった子どもたちのみ実施します。以下の全ての項目についてチェックしてください。各項目にある様子に該当する場合にチェックをつけます。
 同領域の5つの項目中、2つ該当があれば、表の右端で指示されたチェックシートⅢの領域に進んで下さい。

整理番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35		
質問項目	イニシャル等																																					
学習 レ ディ ネス	集団の中で名まえをよばれても返事をしない。																																					
	鉛筆やクレヨンを使ってかこうとしてもなぐり書きである。																																					
	まねで○(始点と終点が合うこと)や十字がかけない。																																					
	声に出して言いながら音節に合わせて手をたたくことが難しい。(5音節)																																					
	しりとりや逆さ言葉(音韻逆唱)などの言葉遊びが難しい。																																					
行 動	注意散漫でじっとしていることが難しい。																																					
	整理整頓が苦手である。																																					
	かっとなりやすく、衝動的な行動が目につく。																																					
	順番を待つことが困難である。																																					
社 会 性	忘れ物やなくし物が多い。																																					
	挨拶や「ありがとう」「ごめんなさい」等の言葉が言えない																																					
	クラスのきまりや約束をまもることができない。																																					
	友だちと意見が食い違ったときに自分の考えをゆずることができない。																																					
性	友だちと協力したり、一緒に活動したりすることができない。																																					
	1つの活動から次の活動へスムーズに移ることができない。																																					

→非該当番号は×
 該当領域のシートⅢに進んで下さい

シートⅢの(1~7)

シートⅢの(8~10)

シートⅢの(8~10)

幼児理解のためのチェックシートⅢ

クラス	歳	ヶ月	性別
-----	---	----	----

領域 1「音韻」(チェック: 1=ない, めったにない, 2=ときどきある, 3=よくある)

				得点		
1	同じカテゴリーの言葉集めがすらすら出てこない。	3	2	1		
2	音節削除の言葉遊びが難しい。(「たぬき」の「ぬ」を抜いたらなに?)	3	2	1		
3	周期的なリズムをもったタッピングが難しい。	3	2	1		
4	音節の想起が難しい。(「らくだ」の最初の音は?)	3	2	1		
5	指定の音で始まる単語の想起が難しい。(「あ」で始まる言葉をたくさん言ってごらん)	3	2	1		
※12点以上の場合、音韻認知関する領域に困難を有している可能性があります					得点合計	

領域 2「聞く」(チェック: 1=ない, めったにない, 2=ときどきある, 3=よくある)

				得点		
1	音の聞き間違いがある。(「はな」を「あな」, 「ほんこ」を「はこ」などと聞き間違える)	3	2	1		
2	多音節語を正しく聞き取ることが難しい。(「クリスマス」や「しんかんせん」)	3	2	1		
3	ちょっとした雑音でも注意がそがれやすい。	3	2	1		
4	相手の話を聞いていないと感じられることがある。	3	2	1		
5	簡単な内容や質問でも、誤って理解することがある。	3	2	1		
6	複数の指示だと、聞きもらすことがある。	3	2	1		
7	指示を聞き返すことがある。	3	2	1		
8	近く(個別)で言われれば理解できるが、遠く(集団)だと理解しにくい。	3	2	1		
9	聞いたことをすぐに忘れる。	3	2	1		
10	ゆっくり話されれば理解できるが、はやく話されると難しい。	3	2	1		
※18点以上の場合、聞くことに関する領域に困難を有している可能性があります					得点合計	

領域 3「話す」(チェック: 1=ない, めったにない, 2=ときどきある, 3=よくある)

				得点		
1	適切なはやさで話すことが難しい。(たどたどしく話す。とても早口。)	3	2	1		
2	発音しにくい音がある。(「サ行」が「シャ行」に「ラ行」が「ダ行」になるなど)	3	2	1		
3	発音しにくい語がある。(「やらかい」→音の入れ替え「おとのこ」→音の誤り)	3	2	1		
4	ことばを想起するのに時間がかかたり、ことばにつまったりすることがある。	3	2	1		
5	話すときに使う語彙の数が少ない。	3	2	1		
6	「行く」、「来る」、「あげる」、「もらう」などの使用に混乱がある。	3	2	1		
7	明確な語を使わず、指示語を使う。(「これ」、「あれ」などの多用)	3	2	1		
8	単語の羅列や、文が短いなどで内容的に乏しい。(「やって」、「紙」、「トイレ」)	3	2	1		
9	思いつままに話すなど、筋道の通った話をするのが難しい。	3	2	1		
10	内容をわかりやすく伝えることが難しい。	3	2	1		
※16点以上の場合、話すことに関する領域に困難を有している可能性があります					得点合計	

領域 4「読む」(チェック: 1=ない, めったにない, 2=ときどきある, 3=よくある)

				得点		
1	「は」と「ほ」、「あ」と「お」などよく似た文字の見分けがつかない。	3	2	1		
2	絵本を見ようとしない。	3	2	1		
3	数字のひろい読みが難しい。	3	2	1		
4	同じ文字をくり返し読んだり文字をとばして読んだりする。	3	2	1		
5	文字を読むことに興味関心がない。	3	2	1		
6	文字を抜かして読む。(「しかい」を「しか」など)	3	2	1		
7	文字を加えて読む。(「せんせい」を「せんせいい」など)	3	2	1		
8	文字の順序を読み違える。(「とおまわり」を「とおわり」など)	3	2	1		
9	文字を混同して読む。(「にぐるま」を「にじまる」など)	3	2	1		
10	単語を読む際、似たような音を持つ語と混同する。(「りす」を「いす」など)	3	2	1		
※17点以上の場合、読むことに関する領域に困難を有している可能性があります ↑(1~5のみ実施の場合9点以上)					得点合計	

領域 5「書く」(チェック: 1=ない, めったにない, 2=ときどきある, 3=よくある)

				得点		
1	直線がまっすぐ引けない。	3	2	1		
2	丸の書き始めと終わりが離れている。	3	2	1		
3	自分の名前をひらがなで書こうとしない。	3	2	1		
4	なぞり書きが大きくずれる。	3	2	1		
5	ぬりえで塗りのこが多かったり大きくはみ出したりする。	3	2	1		
6	文字を抜かして書く。(「しかい」を「しか」など)	3	2	1		
7	文字を加えて書く。(「せんせい」を「せんせいい」など)	3	2	1		
8	文字の順序を読み違える。(「やわらかい」を「やらかい」など)	3	2	1		
9	お手本を見たら書けるが聴いて書く間違える。(「おじいさん」を「おじいせん」など)	3	2	1		
10	独特の書き方で文字を書く。	3	2	1		
※19点以上の場合、書くことに関する領域に顕著な困難を有していると考えられます ↑(1~5のみ実施の場合10点以上)					得点合計	

領域 6「数概念」（チェック：1＝ない，めったにない，2＝ときどきある，3＝よくある）

得点

1	多・少・等(同じ)の理解が難しい。	3	2	1	
2	長・短・等(同じ)の理解が難しい。	3	2	1	
3	さいころを使って遊べない。	3	2	1	
4	10までの数唱ができない。	3	2	1	
5	グループの人数を確認してものを配ることができない。	3	2	1	

※10点以上の場合、計算することに関する領域に顕著な困難を有していると考えられます

得点合計

領域 7「推論する」（チェック：1＝ない，めったにない，2＝ときどきある，3＝よくある）

得点

1	重さやかさの比較をすることが難しい。	3	2	1	
2	丸やひし形などの図形の模写をすることが難しい。	3	2	1	
3	ジャンケンで勝ち負けが分からない。	3	2	1	
4	しりとり遊びで次につなげることが難しい。	3	2	1	
5	早合点や飛躍した考えをする。	3	2	1	

※10点以上の場合、推論することに関する領域に顕著な困難を有していると考えられます

得点合計

領域 8「不注意」（チェック：0＝ない，1＝まれにある，2＝ときどきある，3＝よくある）

得点

1	細かいところまで注意を払わなかったり、不注意な間違いをしたりする。	3	2	1	0
2	課題や遊びの活動で注意を集中し続けることが難しい。	3	2	1	0
3	面と向かって話しかけられているのに、聞いていないように見える。	3	2	1	0
4	指示に従えなかったり、指示した事柄を最後までやり遂げられなかったりする。	3	2	1	0
5	課題や活動を順序立てて行うことが難しい。	3	2	1	0
6	集中して努力を続けなければならない課題を避ける。	3	2	1	0
7	活動や遊びに必要な物をなくしてしまう。	3	2	1	0
8	気が散りやすい。	3	2	1	0
9	日々の活動で忘れっぽい。	3	2	1	0

※3・2は得点1、1・0は得点0で計算します。6点以上の場合、不注意に関する領域に困難を有している可能性があると考えられます

得点合計

領域 9「多動性－衝動性」（チェック：0＝ない，1＝まれにある，2＝ときどきある，3＝よくある）

得点

1	手足をそわそわ動かしたり、着席していても、もじもじしたりする。	3	2	1	0
2	活動中や座っているべき時に席を離れてしまう。	3	2	1	0
3	きちんとしていなければならない時に、過度に走り回ったりよじ登ったりする。	3	2	1	0
4	遊びや余暇活動におとなしく参加することが難しい。	3	2	1	0
5	じっとしていない。または何かに駆り立てられるように活動する。	3	2	1	0
6	過度にしゃべる。	3	2	1	0
7	質問が終わらない内に出し抜けに答えてしまう。	3	2	1	0
8	順番を待つのが難しい。	3	2	1	0
9	他の人がしていることをさげすんだり、じゃまをしたりする。	3	2	1	0

※3・2は得点1、1・0は得点0で計算します。6点以上の場合、多動性－衝動性に関する領域に困難を有していると考えられます

得点合計

領域 10「対人関係やこだわり等」（チェック：0＝いいえ，1＝多少，2＝はい）

得点

1	大人びている。ませている。	3	2	1	
2	みんなから『〇〇博士』『〇〇教授』と思われる。(例：昆虫博士)	3	2	1	
3	他の子どもは興味を持たないことに興味があり、「自分だけの世界」を持っている。	3	2	1	
4	特定の分野の知識を蓄えているが、丸暗記であり、意味をきちんとは理解していない。	3	2	1	
5	含みのある言葉や嫌みを言われてもわからず、言葉通りに受け止めてしまうことがある。	3	2	1	
6	会話の仕方が形式的であり、抑揚なく話したり、間合いが取れなかったりすることがある。	3	2	1	
7	言葉を組み合わせ、自分だけにしかわからないような造語を作る。	3	2	1	
8	独特な声で話すことがある。	3	2	1	
9	誰かに何かを伝える目的がなくても場面に関係なく声を出す。(唇を鳴らす、咳払い、喉を鳴らす、叫ぶ)	3	2	1	
10	とても得意なことがある一方で、極端に苦手なものがある。	3	2	1	
11	いろいろな話をするが、その時の場面や相手の感情や立場を理解しない。	3	2	1	
12	共感性が乏しい。	3	2	1	
13	周りの人が困惑するようなことも、配慮しないで言うてしまう。	3	2	1	
14	独特な目つきをすることがある。	3	2	1	
15	友達と仲良くしたいと思っても、友達関係をうまく築けない。	3	2	1	
16	友達のそばにはいるが、一人で遊んでいる。	3	2	1	
17	仲の良い友人がいない。	3	2	1	
18	常識が乏しい。(決まりきった行動が身につかない。危険なことがわからない。)	3	2	1	
19	球技やゲームをする時、仲間と協力することに考えが及ばない。	3	2	1	
20	動作やジェスチャーが不器用で、ぎこちないことがある。	3	2	1	
21	意図的でなく、顔や体を動かすことがある。	3	2	1	
22	ある行動や考えに強くこだわることによって、簡単な日常の活動ができなくなることがある。	3	2	1	
23	自分なりの独特な日課や手順があり、変更や変化を嫌がる。	3	2	1	
24	特定の物に執着がある。	3	2	1	
25	他の子どもたちからいじめられることがある。	3	2	1	
26	独特な表情をしていることがある。	3	2	1	
27	独特な姿勢をしていることがある。	3	2	1	

※22点以上の場合、対人関係やこだわり等の領域に困難を有している可能性があると考えられます

得点合計